

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 22 No.23 2020年12月15日

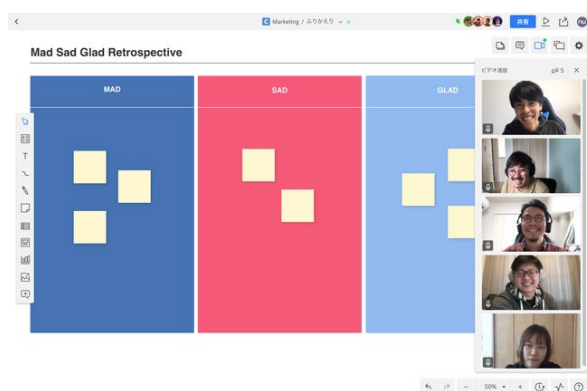
製品・サービス動向-国内

■ヌーラボ：ビジュアルコラボレーションツール「Cacoo」、図の編集画面上に「ビデオ通話」機能をリリース

(PRTIMES：12月9日)

株式会社ヌーラボ (<https://nulab.com/ja/>) (福岡県福岡市)は、同社が提供しているビジュアルコラボレーションツール「Cacoo (カクー)」は、図の編集画面上でビデオ通話ができる機能をリリースした。

Cacoo は、プロジェクトのアイデアやウェブサイトのレイアウト、作業計画などオンライン上で簡単に作成し、チーム内に共有できる、ダウンロード不要で利用可能な Web サービス。



Cacoo 使用イメージ (ヌーラボ)

ワイヤーフレーム、フローチャート、組織図、マインドマップ、オフィスレイアウトまで豊富なテンプレートや図形を元にあらゆる図が作成・共有できる。誰でも簡単に図を作成し、URL ひとつで共有・共同編集ができるようになっている。2009 年のベータ版リリース以降、世界中のさまざまな業種・チームで利用されている。

これまでは会議をしながら図を共同編集するときには相手の顔を見ることができなかった。そのため、Cacoo の図を共有しながらオンライン会議などを行う際、別のオンライン会議システムと Cacoo を併用しなければならず、画面転換の手間は意図しない画面を共有するリスクがあった。

今回のビデオ通話機能リリースにより、各自が Cacoo の編集画面を見ながら、オンライン会議を行うことができるようになるため、いくつものツールを使う手間がはぶけ、画面共有の操作ミスによる情報漏えいリスク回避にもつながるといふ。

さらに、図を共同編集しながらお互いの顔を見ることができるようになるため、これまで以上にコミュニケーションが楽しく円滑になるといふ。

なお、ビデオ通話に参加できる人数に上限を設けている。登録しているプラン毎に上限が異なる。有料プランユーザは 5 人まで参加可能。無料プランユーザと非ログインユーザは 3 人まで参加可能となっている。

ヌーラボは、プロジェクト管理ツール「Backlog」、ビジュアルコラボレーションツール「Cacoo」、ビジネスチャットツール「TYPETALK」、組織の情報セキュリティ・ガバナンスをたかめるための「Nulab Pass」を開発・提供している。

■ベルフェイス：導入企業の自社サイトから簡単にオンライン商談を開始できる機能を提供開始

(PRTIMES:11月30日)

ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>)

(東京都渋谷区)は、11月26日、bellFaceの導入企業のWebサイトより、直接接続が可能な機能(ダイレクト発番)を新しく設けたことを発表した。



従来のやり方とダイレクト発番との違い (ベルフェイス)

ダイレクト発番(特許出願中)は、企業のWebサイトに、ベルフェイスより発行するソースコードを埋め込むだけで、接続用のバナーが掲出され、自社独自の商談ページが設けられる仕組み。

これにより、顧客(ゲスト)に対して、bellFaceの接続ページを案内することなく、bellFaceの仕組みを利用した、オンライン商談の実施が可能となる。また、接続用のバナーやWebサイトのデザインも自由であるため、より企業独自のポリシーが設けられるメリットもある。

ゲストへの接続デバイスが、スマートフォンの場合には、該当のWebサイトのURLをホストからSMSで送付することで、接続ページの案内が可能となっている。

ベルフェイスによると、ダイレクト発番は、ゲストからの信頼や接続プロセスの簡易化につながるものと考えているという。

■サンワサプライ：360° WEBカメラ「400-CAM084」を発売

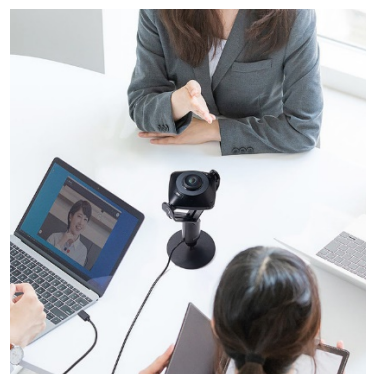
(PRTIMES：12月11日)

サンワサプライ株式会社(<https://www.sanwa.co.jp/>)
(岡山市北区)は、利用シーンに合わせて画角やレイアウトが選べる360°WEBカメラ「400-CAM084」を

発売した。



400-CAM084 (サンワサプライ)



使用イメージ (サンワサプライ)

本製品は、360°パノラマ撮影に対応したWEBカメラ。Web会議のために何台もカメラを用意したり、位置を調整しなくても、会議の参加者全員の顔を見渡すことができる。



6パターンの画面レイアウト (サンワサプライ)

利用するシーンにあわせて、6つのレイアウトを切り替えることができる。

(1) 画面を2分割して上下に配置する「180°分割」、(2) 360°全体の映像を表示する「360°パノラマ」、(3) 上段に360°全体・下段に1方向の映像を表示してより大きく映す「360°パノラマ+1画面」、(4) 上段に360°全体・下段に2方向の映像を表示して大きく映す「360°パノラマ+2画面」、(5) 水平画角90°の範囲で表示する「正面90°」、(6) 水平画角120°の範囲で表示する「正面120°」。

一方、音声については、音声ノイズを低減するノイズリダクションマイクを2つ搭載し、相手にクリアな音声が届けることができるようになっている。

接続するケーブルは1本(3m)で、USB Type-Cポート、USB Aポート両方に接続できる。また、専用レンズカバー付きで使わないときにレンズを保護することができる。

サイズは約W93.5 x D37 x H193mm(カメラ正面時)で、重量は約314g(台座を含む)。サンワダイレクトで販売開始する。価格は22,545円(税抜)。

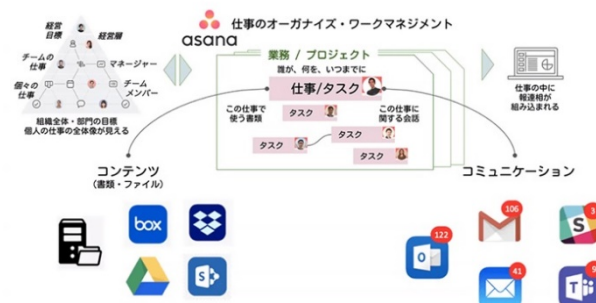
■日商エレ：プロジェクト管理ツールのAsana社と販売代理店契約を締結、ソフトウェアや支援サービス提供開始

(12月7日)

日商エレクトロニクス株式会社(<https://www.nissho-ele.co.jp/index.html>) (東京都千代田区)は、プロジェクト管理ツールを提供するAsana社(米国・カリフォルニア州)と販売代理店契約を締結し、12月7日からAsanaソフトウェアの販売や安定利用を支援するサービスの提供を開始した。

新型コロナウイルス感染拡大によりリモートワークが広く普及してきたが、離れて働くことで、チームメンバーの仕事の進捗状況、課題が見えにくくなり、確認、調整といった「仕事のための仕事」が増えている。

そういった背景から、誰が、今、何をしているのかなど、お互いに状況を把握する仕事の可視化ニーズが高まっているという。



Asana ワークマネジメントプラットフォーム

(日商エレクトロニクス)

それに対して、Asana が提供するソフトウェアは、ワークマネジメントプラットフォーム。普段使いのメール、クラウドストレージ、チャットなどを Asana に取り込み、すべてを1カ所にまとめることができるようになっている。

これにより、ツールを横断した作業がなくなるため、作業効率を最大限高めることが可能になっている。たとえば、すべてのタスクは「誰が」「いつまでに」が記録され、日々の活動結果や進捗状況が可視化される。これにより、チームリーダーは可視化された進捗や負荷状況を見ながら、効果的なフォローアップが可能になる。また、日々の活動や業務を、組織・企業の目標やターゲットと有機的に結びつけ、個人のパフォーマンスと組織のパフォーマンスを紐付けることが可能となっている。仕事の成果が可視化され、納得感のある評価にもつながるとしている。

なお、Asana社は、Zoom社が発表したZapps (Zoom対応アプリケーション)のパートナー。タスクからワンクリックでZoomが起動、またZoom会議中に画面を切り替えることなく、Asanaを利用できるようになっている。

ビジネス動向-国内

■日商エレ：Zoom Room 向けビデオ会議用デバイスを提供する Neat frame Limited 社と販売代理店契約、12月10日から販売開始

(12月10日)

日商エレクトロニクス株式会社 (<https://www.nissho-ele.co.jp/index.html>) (東京都千代田区) は、Zoom Room 向けビデオ会議用デバイスを提供する Neat frame Limited 社 (英・ロンドン) と販売代理店契約を締結、12月10日から販売を開始する。

Neat 社は、会議空間を理解した精鋭たちが結集し、究極の Zoom 体験を提供するために Zoom 社の出資で 2018 年に設立された企業。日商エレクトロニクスは Zoom 社のリセラーでもある。

今回販売開始するのは、小から中規模のミーティングスペースに最適な「Neat Bar」と、ディスプレイ一体型端末「Neat Board」。

Neat Bar は、デザインがコンパクトでエレガントであるだけでなく高機能・高性能なマイク (5 つのマイクと 3 つのセンサーマイク)、カメラ (4K)、スピーカー、PC が含まれた一体型端末。

Zoom Rooms がはじめてからインストールされており、箱から本体を出して電源とネットワークに接続し、アクティベーションをすればすぐに利用できる。オートフレーミング機能を搭載し自動で最適な画角に調整することが可能。ディスプレイマウントなどさまざまな取り付け方法が可能となっている。

Neat Bar のコントローラーやスケジューラーとして利用できる Neat Pad が付属 (お互い自動にペアリングする)。Neat Bar と Neat Pad セットで 298,000 円 (税抜、送料別)。構築とサポートはオプションとなっている。

一方、Neat Board は、Zoom Rooms 専用オールイン

ワン型のタッチディスプレイ。65 インチの LED スクリーン、カメラ (4K)、マイク、スピーカーなど必要なものがひとつの筐体にまとまっているため、運用の手間が大幅に軽減されており、Zoom Rooms をより快適に利用することができるようになっている。

特長としては、カメラは照明条件にスマートに適応する広角 4K 対応カメラ環境センサー搭載、8 つのマイクで視界内の音声ピックアップを最適化、ダブルトークの問題を解決、幅広い音域によって原音に近い音を提供、などがある。

日商エレクトロニクスは、顧客向けデモ環境として、同社主要拠点 (北海道、東京、愛知、大阪、広島) に Neat Bar、東京と大阪に Neat Board を設置している。日本どこでも Neat を体感できる環境作りに取り組んでいる。東京では Zoom と一緒に使用できるさまざまなメーカーの製品を試すことができるという。要望に応じて最適な機器選定をサポートする。

初年度に約 2 億円の売上を目指す。

■テリロジーサービスウェア：リコージャパンが多言語映像通訳サービス「みえる通訳」の取り扱い開始

(12月4日)

株式会社テリロジーサービスウェア (https://www.terilogy.com/company/profile/service_ware.html) (東京都千代田区) は、リコージャパン株式会社 (東京都港区) が、2020 年 11 月より、多言語映像通訳サービス「みえる通訳」の取り扱いを開始したと発表。

リコージャパンは、これまで販売していた株式会社リコー (東京都大田区) の通訳サービスの代替商品として、2020 年 11 月より みえる通訳 の取り扱いを開始した。

みえる通訳は、タブレットやスマートフォンを用い、Web 会議形式で画面上に外国語 13 言語や手話が可能

な通訳オペレーターを呼び出すことで、顧客とのコミュニケーションをサポートするサービス。今回、みえる通訳のサービス品質が、リコーの提供していた通訳サービスと非常に近いことから、みえる通訳を採用する決め手となったという。

リコージャパンは全国に352拠点をかまえ、幅広い顧客へ主に複写機・ファクシミリ・レーザープリンター・デジタルカメラの販売および保守などを行っている。今後は、全国のリコージャパンの営業網を通じて、既存ユーザの移行および新規の顧客への提案商材としてみえる通訳の販売を行うとしている。

■ブイキューブ：NTT 西日本とひびき精機の「スマートファクトリー実現に向けたローカル 5G の活用に関する共同実験」に採用

(11月25日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、西日本電信電話株式会社 (<https://www.ntt-west.co.jp/>) (以下、NTT 西日本) と株式会社ひびき精機 (<http://www.hibikiseiki.com/>) が実施する「スマートファクトリー実現に向けたローカル 5G の活用に関する共同実験」(2020年4月23日協定締結) に参画する。



遠隔作業支援ソリューションを利用した、製造現場への現場支援の様子(ブイキューブ)

ブイキューブは工場間の実験に係る。製造現場プロセスの業務効率化や技術伝承を目指した遠隔作業

支援の検証において、スマートグラスを活用した遠隔作業支援ソリューションを提供する。

モノづくり現場で働く製造部門の作業者の目線で工場内の様子をリアルタイムに映像共有し、本社の生産技術部門の担当者や熟練者と同じものを見ながらいつでもコミュニケーションが取れるようにすることで、生産技術部門の担当者や熟練者の現場移動を待つことなく、適切に現場作業支援を実施できるようにする。

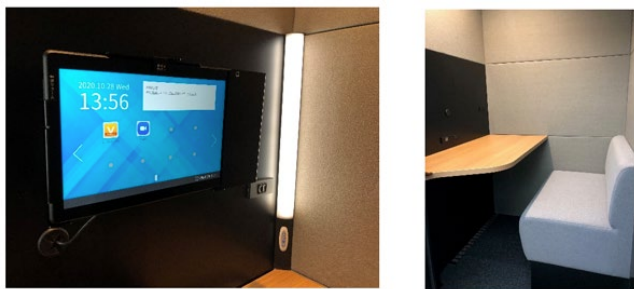
ブイキューブの遠隔作業支援ソリューションは、米リアルウェア社のスマートグラスと、NETIS 登録の「V-CUBE コラボレーション」が完全連携した遠隔作業支援のソリューション。

フルハーネスに対応したハンズフリーを実現しており、スマートグラスの装着者は音声操作のみで、現場と遠隔地が視界を共有しながら、目視確認、状況把握、確認、検査などが行える。スマートグラスがある現場のネットワークが狭帯域であってもストレスなく双方向コミュニケーションが可能で、熟練者が現場に足を運ぶことなく施工管理・監督などの業務や新人のサポートなどをスムーズに実施できるようになっている。

■テレキューブ：日本予防医学薬剤師協会と、薬を勧めない薬剤師によるヘルスケア相談サービスの実証実験を開始

(12月1日)

一般社団法人日本予防医学薬剤師協会 (<https://jpmmp.or.jp/>) (神奈川県横浜市など) とテレキューブサービス株式会社 (<https://telecube.jp/>) (東京都千代田区) は、2020年12月1日から2021年3月31日の4ヶ月間、新丸の内ビルおよび豊洲フォレシアの「テレキューブ WEB 会議センター」において薬剤師による食事指導とファスティングやサプリメントの提案によるダイエット、疲れや眠気、体質改善を目指すオンラインヘルスケア相談サービスの実証実験を実施する。



(左) テレキューブ WEB 会議センター内テレキューブ実装
タブレット・LED 照明、(右) テレキューブ標準内部 (ブ
ィキューブ)

本実験は、テレワークを行う方や仕事や移動の隙間
時間におけるヘルスケア相談サービスのニーズ検証を
目的としている。

個室型ワークブース「テレキューブ」では、Zoom を
使いオンライン相談を行う。提供コースは、60 分コ
ースを標準コースとして 30 分コースも用意されてい
る。ただし、利用料金はいずれのコースでも 1,000 円と
なっている (通常は 5,000 円のサービス)。予約は申
込日から 3 日後のスケジュールより受け付けている。

日本予防医学薬剤師協会は、食事や運動などの生活
習慣のアドバイスや、健康食品・サプリメント販売を
カウンセリングに基づいて行う薬剤師を育て、広げて
いくために 2020 年 10 月 23 日に設立された。予防医
学薬剤師を「育てる」「広げる」を事業の柱としてお
り、予防医学をワンストップで学ぶスクールの運営や、
クリニック・歯科医院やエステサロン・スポーツジム
などとのサプリメントやファスティングキットのカウ
ンセリング販売を行う業務提携を展開している。

■ヤマハ：バルコ社とのアライアンスパート ナーシップを締結、“対面式会議と変わらな い”リモート会議体験を実現

(12 月 14 日)

ヤマハ株式会社 ([https://sound-
solution.yamaha.com/products/uc/](https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/)) (静岡県浜松市)

とバルコ株式会社
(<https://www.barcohealthcare.jp/index.shtml>) (東京
都大田区) は、アライアンスパートナーシップを締結
したと発表。

今回締結したアライアンスパートナーシップは、ヤ
マハが提供するリモート会議用スピーカーフォン
「YVC-200」「YVC-330」「YVC-1000」とバルコが提
供する会議ソリューションツール「ClickShare」を連携
して使用することで、社内・社外からのオンライン会
議参加者が混在するハイブリッドな会議を、より快適
に実施するためのソリューション提供を目的としたもの
となっている。

ヤマハの YVC シリーズは、チームコラボレーション
に重心をおいた働き方やオフィス空間の変化に対応し、
さわがしいオープンスペースから小・中・大規模の会
議室まで、オフィスのあらゆるシチュエーションで快
適な遠隔会議体験を実現するスピーカー・マイクソ
リューション。まるで同僚とオフィスで会話している
ような、クリアで快適な会話を実現し、スムーズな会
議を提供する。

バルコの「ClickShare CX シリーズ」は、ワンクリッ
クで遠隔画面共有を行える独自性の高いハードウェア
ソリューション。これまでソフトウェア的な制御が中
心だったオンライン会議の画面共有操作のさらなる簡
素化を実現する。また、ディスプレイと複数の PC 間の
ワイヤレス接続に加え、リモート会議に必要とされる
カメラやマイクなどの USB 周辺機器を統合し、ワイヤ
レスで制御できるルームドック機能を備えており、新
しいコラボレーションを提唱するワイヤレスコンファ
レンスソリューション。

両社のソリューションを組み合わせることで、対面
式の会議と同じように自然な、室内および遠隔地の参
加者向けの魅力的な会議体験が実現するとしている。

PR

■ダイترون株式会社



https://www.daitron.co.jp/products/aver_promotion.html

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（12月～2021年1月）

「【営業必見】Zoomと商談特化ツールはどう使い分ける?」「<スマートグラスオンライン体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援!」など多数

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（2021年1月～）

日時：日時ご確認ください。

会場：オンライン/オンディマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと

取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

編集後記

定期レポートはこの12月15日号が今年最終号になります。今年も23回無事に発行することができましたのも皆様のお陰です。ありがとうございます。

コロナウイルス感染症の広がりから、ワッチャーとしては心の底から喜べない状況ではありますが、今年はテレワークが日常になりオンライン会議が当たり前になった1年でした。おそらく今後も遠隔会議史上忘れられない1年になるのではとっております。これからの遠隔会議システムのさらなる進化が楽しみです。

来年は2021年1月15日号からスタートです。

また来年もよろしくお願ひ致します。少し早いですが皆様良いお年をお迎えください。

CNAレポート・ジャパン 2020年12月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp